

わが俳諧修業

芥川龍之介

青空文庫

小学校時代。——尋常四年の時に始めて十七字を並べて見る。
 「落葉た焚はいて葉は守もりの神を見し夜よかな」。鏡きやうくわ花はなの小説など読
 み見たれば、その羅曼ロマン主義を学びたるなるべし。

中学時代。——「獺祭書屋俳話だつさいしよをくはいわ」や「子規隨筆しきずあひつ」などは読
 みたれど、句作は殆どほとんとしたることなし。

高等学校時代。——同級に久米正雄くめまさをあり。三汀さんていと号し、朱しゆぎ
 鞞派やの俳人なり。三汀及びその仲間の仕事は詩に於ける北原きたはらは
 白秋くしう氏の如く、俳諧にアムプレシヨニスムの手法を用ひしもの

なれば、面白がりて読みしものなり。この時代にも句作は殆どせ
ず。

大学時代。——略ぼ前時代と同様なり。

教師時代。——海軍機関学校の教官となり、高^{たかはま}浜先生と同じ
鎌倉に住みたれば、ふと句作をして見る気になり、十句ばかり玉^ぎ
斧^{よくふ}を乞^こひし所、「ホトトギス」に二句御採用になる。その後引^ご
きつづき、二三句づつ「ホトトギス」に載りしものなり。但しそ
の頃^{ころ}も既に多少の文名ありしかば、十句中二三句づつ雑詠に載^の
は虚^{きよし}子先生の御会^{ごゑしやく}釈^{やく}ならんと思ひ、少々尻こそばゆく感ぜしこ

とを忘れず。

作家時代。——東京に帰りし後はのち小沢碧童をざはへきどう氏の鉗けん鎚つゐを受く
 ること一ひとかた方ならず。その他一いち游亭いうてい、折柴せつさい、古原艸こげんさうら等にも恩
 を受け、おかげさまにて幾分めいか明めいを加へたる心地なり、尤もつとも新傾
 向の句は二三句しか作らず。つらつらあん按あんずるにわが俳諧修業は
 「ホトトギス」の厄介やくがいにもなれば、「海紅かいこう」の世話にもなり、
 宛然ゑんぜんたる五目流ごもくりうの早じこみと言ふべし。そこへ勝峯かつみね晋風しんふう
 氏をも知るやうになり、七部集しちぶしふなども覗のぞきたれば、愈鶴いよぬまの如し
 と言はざるべからず。今日こんにちは唯一いち游亭いうてい、魚眠洞ぎよみんどうら等ひまと閑ひまに俳
 諧を愛するのみ。俳壇のことなどはとんと知らず。又格別知らん

とも思はず。たまに短尺たんじやくなど送つて句を書けと云ふ人あれど、短尺たんじやくだけ恬然てんぜんととりつ離しにして未だ嘗書いまかつていたことなし。この俳壇の門外漢たることだけは今後も永久に変わらざらん乎か。次手ついでを以て前掲の諸家の外ほかにも、碧梧桐へきごとう、鬼城きじやう、蛇笏だこつ、天郎てんらう、白くほう峯等の諸家の句にも恩を受けたることを記しるしておかん。白峯と言ふは「ホトトギス」にやはり二三句づつ載りし人なり。

(大正十三年)

青空文庫情報

底本：「筑摩全集類聚 芥川龍之介全集第四卷」筑摩書房

1971（昭和46）年6月5日初版第1刷発行

1979（昭和54）年4月10日初版第11刷発行

入力：土屋隆

校正：浅原庸子

2007年4月13日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.waozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたった

のは、ボランティアの皆さんです。

わが俳諧修業

芥川龍之介

2020年 7月13日 初版

奥付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>